

「NHK 障害福祉賞」

入選作品を読み、人生を拓いていく

「もっとてんかんについて知ってほしい」と手記を応募した女性は、自身の葛藤を次のように記しました。

「人と関わることは傷つく恐れがあるということ。それでも、対話しなければ始まらない。とても勇気がいるけれど、案ずるよりもまず行動だ。」

また、障害者の支援員として働くなかでうつ病と診断された男性は、これからの人生をこう展望しています。

「今日も明日も、やっとの思いで生きていて、正直、治るものなら治ってほしい。ただ、やりたいと思うことだけは諦めたくないし、わたしの叶えたい人生を成し遂げたい。」

賞が始まってもうすぐ60年。NHK障害福祉賞には、当事者や支援者が、人生で直面する壁を乗り越え、道を切り拓こうとする姿が寄せられてきました。

「混沌とした感情を整理したい」
「見えない障害を知ってほしい」
「自分の体験を同じ障害のある仲間に伝えたい」

こうした内なる思いを綴った手記こそ、「書くこと」で人生が拓かれていくことの記録だ、と評するのが、長年、選考委員として手記を読み続けてきたノンフィクション作家の柳田邦男さんです。手記からは、本人の肉声を聞くかのような生々しい感覚が読み手に届き、その背景にある時代の在り方も見えてくる、とも。

フォーラムでは、柳田邦男さんと、障害者スポーツの振興に力を注ぐ増田明美さんが、入選作品の作者との対話を通じて、自分の内面への向き合い方、それを綴ることの意義、そして、それを読むことで何が得られるか、について深掘りしていきます。

2025年3月23日(日)午後2時～4時30分(終了予定)
インターネットによるライブ配信

プログラム

第1部：入選作品 作者インタビュー

「向き合ったことと、切り拓かれたこと」

第2部：対話

「“ともに生きる社会”にどうつなげていくか」

医療、福祉の取材を続けている柳田邦男さんと、障害者スポーツの振興に力を注いでいる増田明美さんが、受賞者の思いや作品の背景を掘り起こし、「ともに生きる社会」への道を探っていきます。

NHK 障害福祉賞

1966年、肢体不自由者にくらべて実態が知られていなかった知的障害者に光をあてるため、「精神薄弱者（児）福祉実践記録」を創設。以降、募集テーマや部門を変えながら、毎年、手記の募集を継続している。

現在は、障害のある人の部門（第1部門）と、障害のある人とともに歩む人の部門（第2部門）の2部門で体験作文を募集。2024年度は合計462編の応募があり、9作品が選出された。

入選作品はホームページで読むことができる。



出演者プロフィール(敬称略)



柳田邦男 (ノンフィクション作家)

1936年、栃木県生まれ。60年にNHK入局。71年に飛行機事故の取材をもとにしたルポルタージュ『マッハの恐怖』を発表し、第3回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。74年にNHKを退職して、ノンフィクション作家・評論家としての活動に専念。現在も、「生と死」「いのちと言葉」などをテーマに、災害、事故、病気や医療、福祉などについての取材・執筆を続けている。「NHK障害福祉賞」では1985年より選考委員。作品を選考するだけでなく、受賞者との交流も大切にしている。



増田明美 (スポーツジャーナリスト)

1964年、千葉県いすみ市生まれ。成田高校在学中、長距離種目で次々に日本記録を樹立する。84年のロス五輪に出場。92年に引退するまでの13年間に日本最高記録12回、世界最高記録2回更新という偉業を達成した。マラソン、駅伝の独特の解説で知られる。2017年にはNHK朝の連続テレビ小説「ひよっこ」の語りを担当。現在、テレビ番組のナレーションやニュース番組のコメンテーターも務める。障害がある人もない人も一緒に楽しく走る「夢伝大会」を長年にわたり大会長として開催。日本パラ陸上競技連盟会長、日本パラスポーツ協会理事。大阪芸術大学教授。

作者 (第59回受賞者から)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ・倉科 由加子 (最優秀『千代子さんと私』) | 第2部門：施設利用者(故人)が脳性まひ) |
| ・夏目 千種 (優秀『知ってほしい』) | 第1部門：てんかん、高次脳機能障害) |
| ・斎藤 彰太 (佳作『当事者と支援者のあいだ』) | 第1部門：うつ病) |

開催形態

インターネットによるライブ配信

- インターネットに接続された環境下にあるパソコン、スマートフォンなどから視聴できます。

申し込み

参加無料 (要事前申し込み) ※インターネットデータの通信料のみご負担ください。

<https://www.npwo.or.jp/info/31365> の申し込みフォームから申し込みください。
(締め切り) 3月23日(日) 午後4時(終了30分前まで受付)



- 参加者ごとに個別のパスワードをお送りしますので、お一人ずつ申し込みが必要です。
- 申し込みいただいた方には「受付確認メール」(自動配信)を返信いたします。また、3月19日以降、「視聴用URL(ホームページアドレス)」と「パスワード」などをメールにてお知らせします。
- メールが届かない場合は、下記までお問い合わせください。
- 受信拒否設定などをされている方は、あらかじめnpwo.or.jpからのメールを受信できるよう、設定の変更をお願いします。また、フリーメールアドレスで申し込まれた場合は、こちらからお送りするメールを受信できないことがあります。
- Wi-Fi(無線)接続の場合、状況により映像や音声途切れる場合があります。また、長時間の視聴になるため、3G/4G/5G/LTE回線等での視聴では、データ通信量が決められた上限に達してしまう場合がありますのでご注意ください。

※個人情報、フォーラムに関するお知らせや取材以外の目的で使われることはありません。

※申し込みフォームに入力されたご意見やご質問は、フォーラム内及び、NHK厚生文化事業団のホームページで紹介される場合があります。

お問い合わせ

NHK厚生文化事業団 「ハートフォーラム 障害福祉賞」係

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル

03-3476-5955 (平日午前10時~午後6時) nhkh18@npwo.or.jp

※内容に変更が生じた場合は、ホームページでお知らせします。